

● 城東地区 ●
1957 世帯
男 1702 人
女 1835 人
合計 3537 人
R5.9.1 現在

公民館活動で考える 3世代交流の活発化を図る

7月に城東地区福祉ひろばにて、子どもたちが七夕飾りを作るイベントが実施され、私も子どもと一緒に参加をしました。七夕飾りの意味や作り方を地域の高齢者から親や子どもが教わり、一緒に作るというもので、準備や当日の本番を通して3世代が上手く交流できるものとなりました。

昨今自助、互助などの重要性として地域包括ケアシステムの構築が必要と言われている中で、地域での関係が希薄となることを懸念する声も上がっており、お互いが顔見知りとなるイベントはとても重要だと考えます。

そのようなイベントが自身の公民館でも行えればと考え、他の公民館のイベントへ関心を持って見てみると、ゲーム機を使用し、3世代の交流を図ったイベン



七夕飾り

トが開催されていきました。今のゲーム機のコントローラーは、手に持つことでテレビのように振ることでテレビ直感的に行えるものが増えています。また太鼓を叩いて演奏するゲームやパズルゲームは認知症予防にも良いという記事も見られ、介護予防の面からも需要が出てきているという話があります。そのため今後は公民館で交流できるイベントを増やし、地域社会への貢献ができればと考えます。

(岡の宮公民館長 山田 剛史)

岡宮神社 八坂さま 健康の守り神様と町の鎮守



岡宮神社



令和5年7月14日奉納されたヨシの幟

今回は町の鎮守岡宮神社の福澤義則宮司に子供たちの健康の守り神である八坂さまについてお話を聞きました。

我が国の長い歴史を顧みると、猛威を振るう自然災害や疫病の災いを、幾度となく乗り越えてきた先人の営みを見出すことができます。

江戸時代の松本も疫病に悩まされていた時期がありました。特に甚大な被害があったのは、約三百年前の元禄十三年、春から夏にかけての疫病の大流行でした。当時四百八十五人の命が奪われました。この異常な事態に際し、岡宮神社の「八坂さま」の祭礼日が六月

神前に奉納して健やかな成長を祈る伝統の夏祭りです。幟の竿に使うヨシは、身近な水辺に生息するイネ科の多年草で成長が早く、その力強い生命力に邪気を祓う力を宿すものと、古来神聖視されてきました。このヨシに、五色の紙幟をつけ「奉納 八坂大明神」と御神名を墨書します。境内社八坂社の御祭神、八坂大明神とは「スサノオノミコト」です。

● 平安と安全への祈り

岡宮神社八坂さまの祭典には、神様にあやかり御加護のもと、次代を担う子供たちが元気に健やかに成長してほしいと願う親心と地域みんなの思い、そしてかつてわが城下町を襲った疫病の災いからの復興へ向けた、町全体の平安と安全への祈りが受け継がれています。

● 例年7月14日に実施

その岡宮神社の八坂さまは、古くより、疱瘡はしか疫病諸病に抵抗力の無い子供達の健康の守り神様として崇敬を集めてきました。毎年七月十四日の夕方に、家族連れで参詣した氏子町内や近隣町内の子供達が、かかげてきたヨシの幟を御

今年、宮司のお話を聞き、八坂さまに込められた人々の願いや思い、子供のこと奉納したヨシの幟の謂れなどを改めて知ることができました。

今年の八坂さまは、コロナ対策の緩和もあり、五色の幟を手にした親子連れで賑わっていました。

(岡の宮西公民館長 藤森 佳明)

プラスチックごみの行方

皆さんはプラスチック資源として集められたごみがどのようにリサイクルされているか、ご存じでしょうか。

城東地区公民館長会の研修として、松本市で収集したプラスチックをリサイクルしている株式会社シーピーアールの飯山工場

に伺いリサイクルの工程を見学してきました。

ここではごみの3分の2を占めるポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)を選別・リサイクルし、荷物の運搬に使われるプラスチックパレットに再生しています。



シーピーアール飯山工場



各自治体から集められた資源ごみ年間1万5千トンを処理している



ごみをばらしてベルトコンベアに



光を当ててPE・PPを選別

PE・PP

洗浄や再選別のため 3 cm程度に粉碎

その他は別工程に

水を使って再選別 (PE・PP は水に浮く)

乾燥



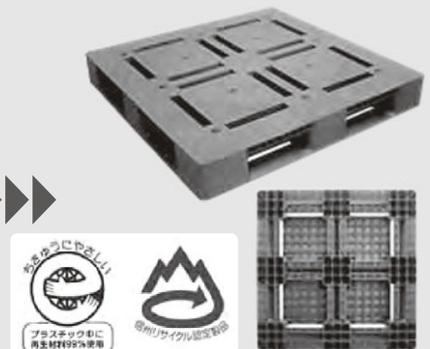
きれいに洗浄



230度に熱して溶かしたものを型に流し込む



60度まで冷やして型から取り出しバリ等を取って完成



プラスチックパレット 年間40万枚を製造 1枚18kg

